



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.5 令和3年9月17日
発行者：校長 久保田 昌之

2学期も笑顔で充実した日々を

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。コロナ禍により、帰省やお出かけを見合わせる等、我慢の多い夏休みだったことと思いますが、子どもたちが元気に笑顔で登校している姿を見て安心しました。



子どもたちの安心・安全な学校生活を守るため、これまでも増して緊張感をもって感染症対策に取り組むとともに、教育活動の充実を図っていきたく考えています。また、感染症の拡大状況により、学校行事や学習内容の変更を行う場合があります。どのようにしたら実施できるのか日程や内容を工夫しながら、子どもたちの達成感や満足感を味わえるようにしていきたいと思っておりますので、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

たくさんの感動をありがとう

東京オリンピック・パラリンピックが行われました。感染症が流行している中での実施について賛否両論ありましたが、世界中のアスリートたちの活躍が報じられ、感動する場面が多々ありました。



2学期の始業式の中で、金メダルを獲得したソフトボール日本代表の上野由岐子選手の紹介をしました。ソフトボールは、2008年の北京オリンピック後、オリンピック種目からはずれたため、13年越しの金メダルとなりました。上野選手のインタビューの中の「あきらめなければ、夢がかなう。」という言葉が印象的でした。石海っ子のみなさんも、あきらめずに自分の夢に向かって努力を続けることを願っています。

ピカピカになった体育館

体育館の床が古くなって少してこぼこになっていたので、夏休み中に改修工事をしていただきました。表面を平らになるように削り、ワックスも塗りなおしたので、新品のようにピカピカになりました。傷をつけないように大切に使いたいと思います。



新学校給食センター稼働開始

48年間、ありがとうございました。



旧 学校給食センター

これから、よろしくお願いします。



新 学校給食センター

太子町の子どもたちに、48年間おいしい給食を提供してきた学校給食センターが、7月16日(金)に最後の給食を提供して、その役目を終えることになりました。長年の功績に感謝の気持ちをこめて、2年生の全児童が代表してお礼に訪れました。2学期から、新しい給食センターで調理された給食を新しい食器でいただいています。本来なら、夏休みの思い出など食事の中に会話がはずむところですが、感染症対策のため、全校児童が「黙食」をがんばっています。

力作ぞろいの夏休み作品展

9月2日(木)～3日(金)に夏休み作品展を実施しました。



ひとつひとつの作品に、さまざまな工夫が見られるとともに、親子の絆も感じ取ることができました。お忙しい中、ご来校いただきありがとうございました。

【主な行事変更】…感染状況により変更の場合あり

- 1年校外学習…11/18(木) 4年校外学習…10/22(金)
- 2年校外学習…10/12(火) 5年自然学校…11/9(火)～11(木)
- 3年校外学習…10/14(木) 6年修学旅行…12/7(火)～8(水)

***** 教室の窓 *****

鉛筆削りの近くに、たくさんの削りカスが落ちていました。教室には多くの児童がいますが、朝の準備で忙しそうです。そんな時、一人の児童が削りカスに気付いたようですが、違う方向に行ってしまいました。しばらくして、さっきの児童がハケとちりとりを持って戻ってきて、さっと掃除をすると、さりげなく別の場所へ行ってしまいました。追いかけて、「ありがとう。何で掃除してくれたの?」と聞くと、「んっ?落ちてたから。」と当たり前のように答えました。ゴミに気付く感性も素晴らしいですが、誰かのためにさりげなく行動できる姿にかっこよさを感じました。教室も社会も、このような行動に支えられていると思います。

〈文責：教頭 三宅 優一〉